



建築設備技術遺産

認定第 27 号 給湯機の進化を示す一連の機器群展示

管理者:ガスミュージアム

所有者:東京ガス株式会社

我が国におけるガス給湯器の主要機器を一堂に展示し、ガス給湯器の進化の歴史を実物によりたどることができる。主要機器は以下のとおりである。

BF 型ガス風呂釜 BF-S: 吸排気に外気を利用するバランスド・フリー（BF）型風呂釜は 1965 年に発売され、安全性は各段に向上するとともに、この器具は、日本住宅公団（現（独）都市再生機構）の標準として採用されたこともあり、集合住宅の浴室の標準形となったが、給湯機能はついていなかった。BF-S は、1967 年に発売された湯沸かし器内蔵のハンドシャワー付きの BF 型ガス風呂釜である。手軽にシャワー・給湯が利用できることから、シャワー利用の普及などその後の入浴習慣の変化・多様化に影響を与えた。

屋外設置型ガス給湯器 KG-113RFW-GZ(U): 屋外設置型給湯器は 1976 年から製造されるようになった。本機器は、1982 年から販売されるようになったもので、ガス・水比例制御方式の採用などで、より小型・高性能化した器具である。強制ファンの内臓などによりパイプシャフト内でも設置可能となり、風呂、温水暖房などのセントラル給湯の普及に貢献した。

風呂釜機能付き壁貫通型給湯器 HK-708RFWHA: BF 型風呂釜の更新用として開発され、小型化により、その分浴槽をその分大きくでき、また、リモコンでの追い炊きなど、制御性、利便性が高まった。

潜熱回収型高効率ガス給湯器「エコジョーズ」IT4207ARSAW6CU: 2008 年に製造・販売された。潜熱回収型の二次交換器を搭載し、熱効率を向上させ（熱交換率: 80%→93%）、省エネルギー・CO2 削減を実現した製品。

以上のように、いずれも住宅における風呂・給湯の普及に貢献した器具類であるとともに、これらの実物を一堂に展示してあることは、給湯設備器具およびその技術進化の歴史をより分かりやすく辿ることができ、技術教育的効果もあると評価される。よって建築設備技術遺産として認定するものである。



バランス型ガス風呂釜 BF-S
昭和 42 年（1967）



屋外設置型ガス給湯器
昭和 57 年（1982）



風呂釜機能付き
壁貫通型給湯器
昭和 58 年（1983）



潜熱回収型高効率ガス給湯機
「エコジョーズ」
平成 20 年（2008）